

日本技術士会 原子力・放射線部会設立総会
議事録

1. 日時：平成 17 年 6 月 24 日（金）10:00～11:30
2. 場所：葺手第二ビル 5 階 日本技術士会 CD 会議室
3. 出席者：

[来賓] 片山次長（文部科学省科学技術・学術政策局）、工藤教授（九州大学）、成合理事長（原子力安全基盤機構）、田中副理事長（日本原子力研究所）、柴田名誉教授（高エネルギー加速器研究機構）、神山氏（元電中研）

[日本技術士会] 清野会長、竹下専務理事

[部会員] 大橋、川崎、栗原、桑江、佐川、櫻井、佐々木、澤田、辻、成川、林、三宅阿部、網野、角田、小向、齊藤、日暮

4. 議事

設立発起人挨拶：部会の設立は多くの方のご支援とご協力の賜物。部門の設置と受験推進に御尽力戴いた御来賓の方々の臨席もいただき、恵まれたスタートができることに感謝。

清野会長挨拶：技術士は技術の内容について客観的な立場で判断できる。昨今の社会的問題となっている事故・災害の防止の観点から、原子力・放射線部門の技術士が客観的立場で活躍することを期待する。原子力の安全・安心に役立てて頂きたい。

片山次長挨拶：原子力技術の特質として、社会的にも特に安全性が求められる。原子力は様々なトラブルを経てきたが、安全性確保には社会とのコミュニケーションが重要。この目的で技術士資格の活用は一つの合理的な施策と考える。

原子力の安全確保には、科学的な判断が重要である。組織の枠を越えて原子力の安全規制の分野においても、技術士の能力を活用するよう部会として結集して頂きたい。

成合理事長挨拶：私自身が原子力学会副会長から会長の時にかけて、原子力分野の技術士制度創設に係わりを持ち、その後も引き続き関心を持っている。原子力部門の設置に関しては、九大の工藤教授、当時の原子力学会の住田会長にもご尽力頂いた。その後順調に進行し昨年度原子力・放射線部門の試験が行なわれた。その後かくも短期間に部会の立上げまでも行い今後の展開まで考えている皆様に敬意を表する。原子力・放射線の技術者の中核として原子力界をリードいただきたい。

JNES においても、技術士一次試験の合格者を輩出しており、この部会に入れるよう励ましたい。国民の原子力に対する信頼回復のため技術士が

活躍することを期待する。

田中副理事長挨拶：日本技術士会、原子力・放射線部会の発足に当り、受益者の立場でお祝いする。原研内部でも原子力技術の専門知識レベルの向上に腐心していたが、原子力・放射線部門の技術士制度は時代の要請に応えるものとする。私が東海研究所長在任時に技術士一次100名合格をほぼ達成し、二次合格を目指している。原研にはまだ潜在的な受験候補者が1500名は居るものとする。技術士は技術士ビジョン21にも生き方まで謳われている職人的な制度である。先達が模範となって推進頂きたい。

工藤九大教授挨拶：第一回の原子力・放射線部門の技術士試験の開始に当っては様々な方の理解と助力があった。部門設置については紆余曲折があったが、短い期間で準備した試験問題は合格率も含め立派なものになっている。さらに、技術士会の原子力・放射線部会の設立が迅速に行なわれた点は喜ばしい限りである。部会として原子力学会のCPD立上げへの協力、産官学より多数の方々が原子力・放射線部門の技術士試験を受験し、社会に貢献できる技術者としての活動を期待する。

祝電紹介

以下の方々より設立を祝う電報を頂いた。

原子力安全委員会	松浦委員長
原子力安全・保安院	松永院長
電気事業連合会	田中部長
日本電機工業会	原子力部

祝電紹介に引き続き設立総会議事に入った。

(1) 総会成立確認

原子力・放射線部門の会員総数16名に対し出席者16名(委任4名含む)、準会員総数19名に対し出席者6名であり、会員総数35名の過半数を上まわっており、部会設立総会の成立が確認された。

(2) 設立主旨および事業計画説明

林発起人代表により、設立主旨および事業計画の説明が行なわれ、全会一致で承認された。

(3) 規約案説明

成川発起人より部会規約案の説明がなされ、以下の質疑応答後、全会一致で承認された。

Q1: 役員のうち部会長以外の員数が若干名となっている理由は何か？

A1;将来の部会人数の拡大を想定して柔軟性を確保するためである。

Q2;部会員の入会資格として他の技術部門の会員も含められないか？

A2;日本技術士会細則の部会に関する規定で当該部門の会員と準会員に限られる。

しかし、機械部会や応用理学部会の中にも多くの原子力・放射線関係者がいることを考慮し、2つの方法で一緒に参加いただけるよう考慮する。(1) 講演会等については月刊「技術士」等に掲載し誰でも参加可能とする。(2) 参加いただいた方、参加しそうな方のリストを作りメール等で案内を出す。

(4) 部会長選出

林発起人代表が満場一致で部会長に選出された。

(5) 幹事紹介

部会の活動を行なうため、部会長より8名の会員(浅野、川崎、栗原、桑江、佐川、佐々木、辻、成川)を幹事に指名する事が提案され、全会一致で了承された。幹事の役割分担等については総会后決定することとした。

(6) 部会長閉会挨拶

現在は少人数だが今年度の2次試験申込者は286名なので、次回総会では100名を超える立派な部会になる。今年度は少人数で大変だが、部会の方向付けのための重要な年と位置付け活動を進める。

以上

この議事録は、議事内容に相違ないことを確認しました。

平成17年7月12日

議事録署名人

桑江良明

